



Contents

02	平成 30 年度 通常総会報告	事務局	浅井 聡司
03	講演会報告「植物のスゴ技・タネと花粉の輸送作戦」	名古屋支部	藤原 純子
04	竹クラフト第五回「ハンギングバスケット、食器」	名古屋支部	高木 和彦
05	私の活動紹介	知多支部	榊原 靖
06	支部総会報告(名古屋支部、知多支部)	名古屋支部	滝田 久憲
		知多支部	榊原 靖
07	支部総会報告(西三河支部)	西三河支部	三田 孝
	理事会報告(臨時)	事務局	石原 則義
08	理事会報告(平成 29 年度 5 回、平成 30 年度第 1 回)	事務局	石原 則義
09	[新連載]「山のめぐみを装いに」	名古屋支部	佐藤 裕美子
10	行事案内/編集からのお知らせ/編集後記		

今号の表紙

「羽化後のトンボ」山田博一（尾張支部）

写真大募集！あなたが撮影した生きものの写真とタイトルをメールでお送りください。匿名での掲載も可能です。

平成 30 年度 通常総会報告

日時：平成 30 年 3 月 21 日(水・祝)13:30～ 場所：日本特殊陶業市民会館 出席者：42 名

◆開会

大谷会長が欠席のため堀田副会長の挨拶に続き、議長（堀田副会長）、書記（浅井理事）を選出した。

◆第1号議案 平成 29 年度事業報告

石原事務局長から、総会資料に基づき事業報告がされた。受託事業（稲武自然ハイキング）の中止理由について質問があり、今後は相手方の中学と綿密な打ち合わせをすることが確認された。その他は、賛成多数で承認された。

◆第2号議案 平成 29 年度決算報告ならびに監査報告

会計を担当していた大谷会長が欠席のため、総会資料に基づき長谷川理事より報告された。また、吉田監事と河江監事より、適正に処理されていると報告された。石原事務局長が会計を手伝うことになった。

◆第3号議案 新役員の紹介

理事会で、編集担当に日浦理事（名古屋支部）、広報担当に山田理事（尾張支部）が選任され、総会で承認された。また、編集担当の久米理事（尾張支部）、名簿担当の森田理事（知多支部）、保険担当の布目理事（名古屋支部）、広報担当の石川理事（西三河支部）の退任が報告された。なお、尾張支部長は、齋竹氏から松尾氏に交代した。

◆第4号議案 平成 30 年度事業計画

石原事務局長から、総会資料に基づき事業計画案が提案され、賛成多数で承認された。また詳しい案内は、協議会ニュースを通じて、事前に案内することになった。また指導員講習会については、今年度も見送られることとなった。

◆第5号議案 平成 30 年度予算案

長谷川理事より、総会資料に基づき予算案が提案され、賛成多数で承認された。

（記録：浅井）

「植物のスゴ技・タネと花粉の輸送作戦」

講師：多田 多恵子氏

レポート：名古屋支部 藤原 純子

「花のレストラン、ごちそうにお客が集まります」何を目的にするかで色々違う。

・上向きに咲く花 (キク科、セリ科など)・・・ファミレスタイプのレストラン。蜜、花粉が丸見え。誰にでもオープン。いろんな客がくまなく来るけどいつも来るとは限らない。花粉を運ぶ効率は悪い。

・下向きに咲く花・・・会員制レストラン。ハナバチがお客さん。花の中に潜り込む。ドウダンツツジの花卉の反り返りはヒゲナガハナバチが潜り込むための足がかり。アヤメの仲間にはマルハナバチが潜り込む。黄色の部分はガイドマーク。

細いカクテルグラスに注がれた蜜を吸うには「マイストロー」持参の虫でないとダメツツジの花の漏斗はチョウの翅にピッタリ。赤いツバキは鳥専用のレストラン。メジロやヒヨドリを誘う。コミカンソウはアリのレストラン、

イルカンダはオオコウモリのレストラン、ボロジノニシキソウはオカヤドカリのレストラン。

ウラシマソウの花は匂う釣り竿状のわなを仕掛けてキノコバエを誘う

・実や種の旅のしかた「種子散布」・・・風散布・水散布・自動散布・動物散布・重力散布

被食散布 (動物散布) →ごちそうにくるんで差し出す。クロガネモチ・ヒサカキ・トウネズミモチなど食べてもらうため鳥に目立つ赤や黒の色を纏う。(黒は紫外線を吸収し鳥には色付きに見える)

なぜ有毒な実やまずい実がある？→実がおいしかったらその場に居続けられてタネ

をその場にまとめて落とされるだけ。渋み、苦み、毒は鳥に飛び去ってもらうため。誘うと同時に拒絶も必要。「どうぞ食べてね。でもちょっとだけよ」⇒ちょっとだけよ♡の法則

一斉に熟す実はたいていまずい。一方、おいしい実は少しずつ色を変えて熟す。これも「ちょっとだけよ♡の法則」

カキの実熟すと落ちて香る。動物をターゲットにしている。熟しても木に残る実は鳥をターゲットにしている。

日本のトロピカルフルーツ、サルナシ・アケビ・ヤマボウシなどはタヌキ・サル・クマ・アナグマ・テンなどをターゲットにしている。

サルナシはタンパク質分解酵素を含み食べ過ぎると舌が痛くなる→食べてね。でもちょっとだけよ！

・ヤマボウシ・・・サルのいる日本ではサルを利用する果実として進化

・ハナミズキ・・・サルのいない北アメリカでは鳥を利用する果実として進化



▲多田 多恵子氏

竹クラフト 第五回

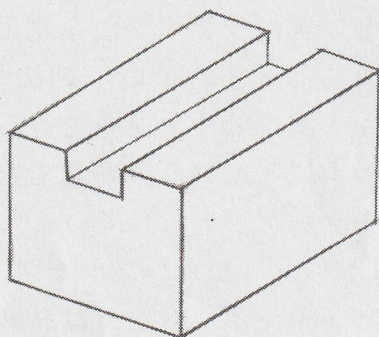
ハンギングバスケット、食器

名古屋支部 高木和彦

第五回はハンギングバスケット又は食器です。繋がりがないように思われるかもしれませんが、ナタの使い方が共通です。

上下に節が有る竹（モウソウチクでもマダケでも可）を用意します。ナタ台は下図のように中央が窪んだ物が必要です。

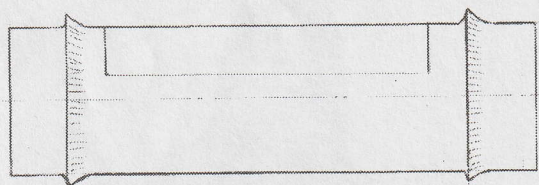
まず、どの様な仕上がりにするか竹に下書きを書きます。横の線は無くても良いのです



ナタ台

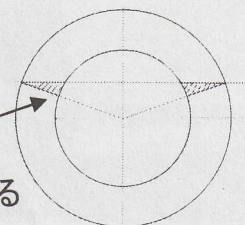
が、切込みの位置は左右で合わせて置く必要が有ります。直径の3分の1位までが良いと思います。ナタは中心方向に入れるので中はより大きい開口になります。又仕上げで削りますし、半分以上開口部になると入れる土が少なくなったり、食べ物がこぼれやすくなったりします。

線に合わせて横にノコギリで切ります。ナタは中心方向に入れるので、斜線部分も



切って置く必要が有ります。

・斜線部（竹の中心方向）にも切込みを入れる

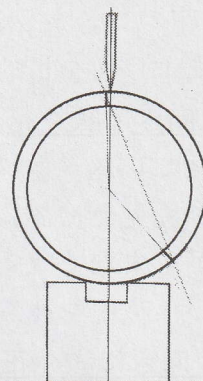


下書きとノコギリの切込み方

縦方向に割る為にナタの先端をノコギリで切った所から数mm程度離れた所に当てて木槌等で叩きます。ナタ、竹、ナタ台が垂直になるようにして割ります。

後は割った面をナタの刃の当て方
イフやヤスリで仕上げます。食器として使う時は、しっかり仕上げます。ハンギングバスケットとして使用する時は節の外側の所に穴をあけて紐を通して使います。（写真は斜めに切れ目を入れたデザインの物です）蓋にして使う事もあります。

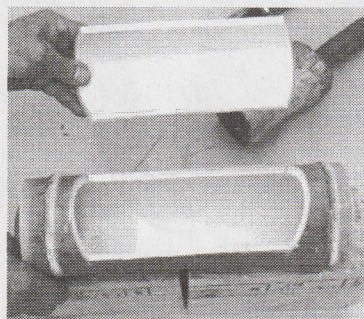
下に置いて使う場合は下側がフラットになるようにナタで割ります。この作業は結構難しく、慣れないと危険です。ナタに慣れてから行って下さい。



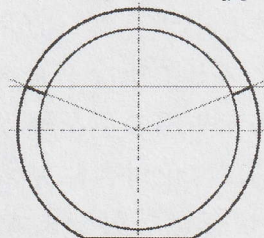
ナタの刃の当て方



ナタでタケを割る



デザインの一例



下側をフラットに

私の活動紹介（支部の活動紹介）

知多支部 榊原 靖

知多支部ではここ数年、年1～2回、「持ち寄り会」と称する会員対象の室内研修会を行っています。29年度は3月10日にアイプラザ半田で開催しました。その様子を紹介します。

プログラムは以下の通りでした。

(1) ～9:45 諸準備

- ・発表の準備や持ち寄り品の展示など

(2) 9:45～持ち寄り発表会 -前半-

- ・調査活動報告「知多半島の淡水エビ」
-種類と分布、棲み分け- 榊原 靖
- ・「竹林を岩本農園に」-桃源郷への開墾・道半ば- 岩本 妙子
- ・「知多半島の三角点探訪」-基準点(水準点50ヶ所、三角点163ヶ所)全てを探し求めた結果- 鈴木 汎
- ・「私のガサガサ」-対象の習性を利用した捕獲術- 浅井 一光

(3) 11:30～(12:40) 休憩

- ・昼食・展示物の鑑賞

(4) ～13:40 持ち寄り談義

- ・持ち寄り品の紹介や解説(持参人)
- ・試食、プレゼント

(5) 13:40～持ち寄り発表会 -後半-

- ・「タブレットで楽しむ生きもの図鑑」
森田 琢磨
- ・(予備)「半田市内の社寺林の樹木」
-鎮守の森と狛犬- 榊原 正躬

(6) 14:20～質問や各種の情報交換

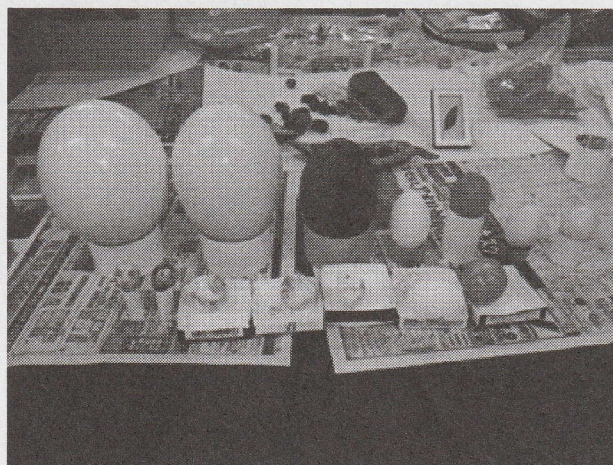
- ・パソコンの使い方
- ・フェイスブックの使い方 など質問があれば、知っている人が応える形で
- ・飛び入り情報提供

(7) 14:50～後片付け

今回は、パソコンとプロジェクターの相

性が悪かったり、ソフトウェアのバージョンが違って持ってきたデータを読み込めなかったりという不具合が続出して、予定通りに運びませんでした。残念ながらいくつかの発表予定演題は次回持越しということになりました。

持ち寄り品談義は会員有志が持ち寄った品物(当然主として自然物)を取り囲んでそれぞれの持ち込み主(拾い主)の説明を聞きます。希少品あり、美麗品あり、お持ち帰りOKのおみやげありで毎回盛り上がります。今回は今後なかなかお目にかかれないであろう外国産鳥類の卵のコレクションや木の実を用いた数珠やストラップなどが並びました。



卵比べ ダチョウ、エミュウ、ウズラ、ウミガメなど

参加者は18名と今回も盛況でした。普段は見られない会員の意外な趣味や巧みな技量に接することができて会員相互の親睦にも大いに役立っていると思います。この様子は知多自然観察会のホームページ、「研修・旅行等」のコーナーで見られますので是非一度ご覧ください。

名古屋支部総会報告

氏名 滝田 久憲

日 時：2月25日（日）14:00～

場 所：あいちNPO交流プラザ

出席者：29名 委任状:37名

平成 30 年度の名古屋支部総会が名古屋市東区のウィルあいちの2階、「あいちNPO交流プラザ」で開催されました。支部長挨拶の後議長と記録係が選出され、議事が進められました。

最初に平成 29 年度の各種事業の報告がされました。定例自然観察会を始めとした様々な事業が実施されました。続いて会計報告がされ、事業報告と共に承認されました。

次に、平成 30 年度の事業計画と事業予算が議論され承認されました。新しい動きとしては、猪高緑地にもう一つの自然観察会が立ち上げられました。

課題としては、昨年の秋に愛知県で指導員講習会が開催されなかったこともあって新加入者がなく、会員数が減っていることなどがあります。役員について今年度は改選期でないため昨年と同じ体制で臨むことになります。

総会終了後、元近畿大学教授の櫻谷保之氏による「自然観察のポイント」と題した講演会が行われました。氏の専門は昆虫生態学、里山生態学。教鞭をとっていた近畿大学農学部が奈良市の里山地区にあったため、昆虫と周りの環境との関わりや絶滅危惧種の生態などの調査研究を行ったり、地域での自然観察会などを実施してこられました。講演は、生態系や生物多様性を五感を使って学ぶための 14 個の観察ポイントなどが紹介されました。

支部長 滝田 久憲

副支部長 石原 則義、石樽純子、
大澤 淳二、近藤 記巳子、高松 一史、
滝川 正子、布目 均、巾 賢治、
堀田 守

会 計 新山 雅一

知多支部総会報告

氏名 榊原 靖

日 時：2月4日（日）9:30～11:30

場 所：阿久比町勤労福祉センター

出席者：38名

（会員総数 86 名、欠席連絡 36 名）

知多自然観察会（知多支部）の総会は 38 名の出席で開かれ、代表挨拶、出席者の自己紹介に続いて例年通り議事の審議が行われました。平成 29 年度事業報告、会計報告、会計監査報告、平成 30 年度役員選出、事業計画、予算案と滞りなく承認されました。

知多自然観察会は知多半島を 9 つ（5 市 5 町の行政区分を基本とし、美浜町、南知多町は会員数の関係で合同）のブロックに分けて活動しています。各ブロックが年数回から 20 数回の観察会を実施し、全体で取り組む観察会もありますので年間 100 回を超える観察会が行われています。平成 30 年度も同様の体制でほぼ同じ数の観察会が予定されています。

そのほかに会員の親睦と研鑽を図る目的で研修旅行と持ち寄り会が予定されています。研修旅行は 5 月と 10 月の 2 回、持ち寄り会は 3 月に行う予定です。研修旅行の行き先や日程は直前になって決まることが多く、平成 30 年度秋の研修旅行は連絡協議会の研修会と位置づけていますので参加を検討される他支部の方のためにも早めに決定するよう心掛けます。

知多支部 平成 30 年度役員

顧問：降幡光宏

代表：榊原 靖

副代表：南川陸夫

榊原正躬

庶務：吉川 勉

会計：森田琢磨

会計監査：山田公子

牧野靖子

西三河支部総会報告

三田 孝

日 時：2月3日(土)14:00～16:30

場 所：竜美丘会館(岡崎市)

出席者：12名

昨年度は会主催観察会を5回企画しましたが2回は雨天中止でした。同時に企画していた研修会も中止になりました。会報が発行されなかったことやホームページの閉鎖により会員への情報提供が不十分なものとなりました。広報は新聞のみとなっています。一方、5つの地域定例観察会は順調に運営され参加者数も安定していました。

今年度は会主催観察会を5回予定しました。4月7日桜井寺はシロバイを中心とした植物の観察です。5月12日段戸裏谷は昨年荒天で中止になった企画ですが、再度予定しました。7月28日は佐久島。海岸の生き物の観察が中心です。営巣するエサキムカシハナバチの観察も楽しみです。11月23日鳥川での観察会は「協議会の交流の日」として他支部との交流を図ります。1月12日は豊田市の前田公園で冬鳥の観察をします。また、地域定例観察会は例年通り5ヶ所でおおむね毎月企画されます。会員の高齢化が進み世代交代が順調ではない現状があります。より多くの会員の参加が望まれるところです。

西三河支部 平成30年度役員

会 長	三田 孝
副 会 長	馬場 隆之
事 務 局	石黒 豊広
広 報	鈴木 寛之
広 報	中根 幸司
監 査	水谷 宗保
幹 事	河江喜久代
幹 事	山本 博美
幹 事	伴 幸成

平成29年度 臨時理事会 報告

日 時：3月11日(日)14:00～

場 所：音楽プラザ

出席者：大谷、星野、堀田、石原、永田、新山、松尾、滝田、三田、河江

◆議案

1 会長病氣辞任に伴う、新会長選出の件

病氣辞任という事になれば、当然副会長が会長代理を引き受けることになるのが筋だと思うがどうでしょうかと切り出した。

堀田副会長は、会長代行なら引き受けてもよい。大谷会長の病氣が快復すれば、いつでも会長をやっていただく。兎に角、1年間会長代行として、様子を見ることになった。大谷会長からは異議がでなかった。

2 会計辞任に伴う、会計選出の件

会計がないということはあり得ないので、誰かが引き受けざるを得ない。引き受けるにしても、現在、会計の業務がわかりにくいので誰でもできるようにしなければならない。自発的にやっていただける方は見当たらない。事業交付金担当の長谷川さんからは、精密検査の結果が良ければ会計を引き受けても良いとの内諾を得ている。上記をふまえ、担当者は複数が良いという事から事務局の石原も会計を手伝うことになった。

この1年間は、大谷会長が会計の業務を一人で担当し、業務内容もわかりやすくまとめていただいたので、踏襲し、教えていただくことになった。

業務の引継ぎの日を決め、会長代行も同席することになった。

3 理事選出の件

尾張支部から選出の山田博一氏については、会計以外の役割であれば何でもやるとのお話があった。

平成 29 年度 第5回理事会 報告

日 時:平成 30 年 2 月 12 日(月・祝)13:30～ 場 所:音楽プラザ

出席者:大谷、星野、堀田、石原、永田、布目、新山、瀧崎、浅井、松尾、滝田、榊原、三田、河江、吉田

◆平成 30 年度の自然環境サポーター養成講座開催は見送り

「あいち森と緑づくり環境活動推進事業」として、2 年継続したが、平成 30 年度は準備不足もあり、自然環境サポーター養成講座は開催しない。

◆議案

1 来年度(平成 30 年度)事業案

- ・「あいちの自然観察会」、「研修会」は内容が煮詰まっていない支部もあり、次回理事会にて日程等を確認することとなった。
- ・「生物分類・生態研修会」は、魚類をテーマとし、講師は名城大学の谷口先生にお願いすることになった。
- ・「協議会交流の日」の担当は西三河支部(11/23 金・祝)岡崎市鳥川(とっかわ)岡崎ホテル学校)

2 新役員の紹介 尾張支部長:齋竹善行さんから松尾初さんに交代

理事退任 石川、久米、布目、森田

3 その他

- ・大谷会長が業務リスト、業務負担金などたくさんの資料を用意され、紹介をした。

平成 30 年度 第1回理事会 報告

日 時:平成 30 年 3 月 21 日(水・祝)10:00～ 場所:日本特殊陶業市民会館

出席者:堀田、星野、石原、長谷川、日浦、久米、浅井、新山、山田、瀧崎、松尾、滝田、榊原、三田、寺本、河江

愛知県自然環境課より、生態系ネットワーク形成・生物多様性保全に向けた今後の取り組みについて説明を受けた。

◆議案

1 総会資料について再度確認した。主な確認事項は以下の通り。

あいちの自然観察会	各支部から日時・テーマ・実施場所を確認した。
研修会(各支部)担当	(通常総会資料「第4号議案 平成30年事業」に掲載)
生物分類・生態研修会※	テーマ:魚類研修会 講師:谷口義則氏(名城大学) 日時:10月8日(月・祝)13:30～ 場所:日本特殊陶業市民会館 3F第1会議室
協議会交流の日 (担当:西三河支部)	日時:11月23日(日) 場所:岡崎市鳥川(とっかわ) 岡崎ホテル学校 内容:未定
調査	メリケントキンソウについて
保険	レクリエーション傷害保険 3000名見込み(159号に折込み)

※なごや生物多様性保全活動協議会の会員活動支援で行う予定。

2 新役員の紹介(各支部で推薦、理事会で承認)

- ・日浦誠章(名古屋支部) 山田博一(尾張支部)

3 その他

- ・第2回理事会(5月4日(金・祝)13:30～、場所:なごや都市センター)

野山のめぐみを装いに ～ドングリとジュズダマのブローチ

木の実のアクセサリー ①



名古屋支部 佐藤裕美子

毎年秋には野山からいただいた蔓や木の实を使ってリースを作ります。そのときに集めた木の实を使って作ったアクセサリーを4回紹介いたします。集めた素材をどう使おうか、いろいろ思い巡らすのは楽しいことです。1回目はジュズダマやドングリなどを使った「大人が付けられるブローチ」です。材料は近所の公園で集めた木の实と手持ちのビーズ、道具は100円ショップで手に入るものがほとんどです。

《木の実のブローチ》

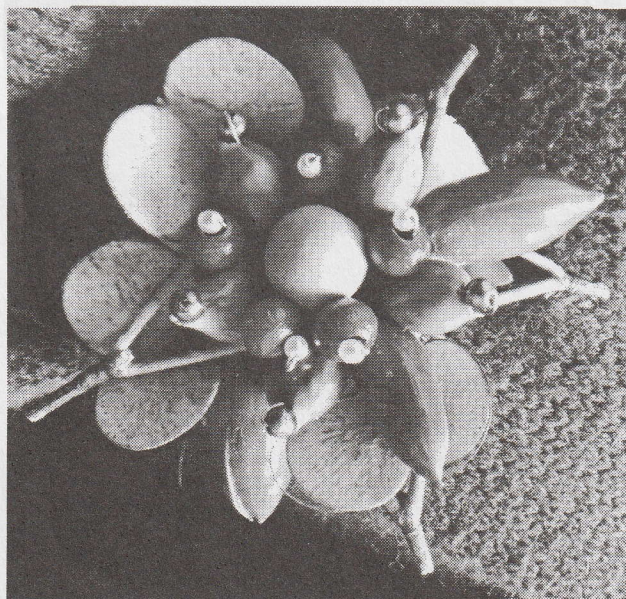
材料・道具：ジュズダマ5コ ドングリ5コ
ドウダンツツジの枝5本 ヤマノイモの実5枚
ウッドビーズ白大1コ ウッドビーズ赤中5コ
ビーズ小10コ ブローチ台(シャワー) ワイヤー適宜 粘土 ボンド
トップコート 手芸用ニッパー



作り方：あらかじめ木の实とドウダンツツジの枝はよく乾燥させておく。

①ジュズダマとウッドビーズ赤にワイヤーを通しビーズ小をくぐらせて折り曲げ、逆に通す。各5用意する。

②ドングリ5コは縦半分に分けて種を取り出し、内側にボンドをつけて茶色の粘土を切り口に平らになるように詰める。そこに



U字に曲げたワイヤーを埋め込む。ドングリの表面にトップコートを塗っておく。

③ウッドビーズ白大にワイヤーを通し、シャワー台の真ん中に固定する。

④③の周りに①ジュズダマと②ウッドビーズ赤中を交互に配置して裏で固定する。

⑤④の外側にドングリを5コ等間隔に配置して裏で固定する。

⑥ドングリの間にドウダンツツジの枝を差し込みボンドで貼り付ける。ドウダンツツジは同じ角度で枝が出るので同じ太さの枝を5本用意しY字に切ってトップコートを塗っておく。

⑦ドングリとドウダンツツジの枝の隙間にヤマノイモの実をボンドで貼り付ける。

⑧土台の裏側の針金を締めて余分は切って整理し、留め具を付ける。

◆自然の赤い実クラフトに適したものが見つからず、ウッドビーズを使用した。

◆トップコート(つや出し)を塗ると見栄えがする。ドングリはこすってもOK!

協議会ニュース

No. **159**

2018. 6



Contents

02	平成 30 年度 通常総会報告	事務局	浅井 聡司
03	講演会報告「植物のスゴ技・タネと花粉の輸送作戦」	名古屋支部	藤原 純子
04	竹クラフト第五回「ハンギングバスケット、食器」	名古屋支部	高木 和彦
05	私の活動紹介	知多支部	榊原 靖
06	支部総会報告(名古屋支部、知多支部)	名古屋支部	滝田 久憲
		知多支部	榊原 靖
07	支部総会報告(西三河支部)	西三河支部	三田 孝
	理事会報告(臨時)	事務局	石原 則義
08	理事会報告(平成 29 年度 5 回、平成 30 年度第 1 回)	事務局	石原 則義
09	[新連載]「山のめぐみを装いに」	名古屋支部	佐藤 裕美子
10	行事案内/編集からのお知らせ/編集後記		

今号の表紙

「羽化後のトンボ」山田博一（尾張支部）

写真大募集！あなたが撮影した生きものの写真とタイトルをメールでお送りください。匿名での掲載も可能です。